

## 村民との対話 「福島・飯舘村 再生の意味」

5月25日 15:00~17:30 会場 (1号館8番教室)

総合司会 溝口勝 ふくしま再生の会理事、東京大学大学院農学生命科学研究科教授

ご挨拶：田尾陽一 特定非営利活動法人ふくしま再生の会 理事長

ご挨拶：古谷 研 東京大学 大学院農学生命科学研究科科長・農学部学部長

### ① 福島・飯舘村の参加者がそれぞれ「再生の意味」について語る 15:00~16:00

佐藤栄佐久 (元福島県知事)

飯舘村若手 菅野義樹・菅野美枝子\*・佐藤健太・佐藤聡太・山田豊

飯舘村壮年 伊藤美智子\*・菅野宗夫・菅野千恵子\*・菅野永徳・菅野義人・佐藤公一・三瓶政美

\*分科会より参加

### ② 村民との対話 16:00~17:30

飯舘村村民と参加者が、8グループ (A~H) を形成し、互いに意見交換する。

#### A 佐藤健太 飯舘村商工会青年部長・NPO 法人福島新文化創造委員会代表

自然エネルギーに限らずとも2拠点居住をしながら飯舘村の資源、財産を活用 (出来れば村民の利益になる) して、村から離れていても繋がっていられる方法を模索したい。

(司会進行) 宇野義雄 ふくしま再生の会幹事

#### B 山田 豊 繁殖牛育成農家、京都の精肉店勤務、畜産業

私はいずれ村に帰りたい。父は今でも牛を飼っている。これまでの飯舘村はいろんな苦勞の中で生活を立ててきた。私自身が切磋琢磨してどうして生きていきたいのか考えて、これからの村の生活を再生したい。国など外の組織が何かを決めて押し付けてもうまくは行かないだろう。

(司会進行) 大永貴規 ふくしま再生の会副理事長、(株)遊域計画代表取締役

#### C 佐藤聡太 宇都宮大学農学部4年

“老人天国” (高齢者を受け入れる村) を、最終ゴール (復興した姿) と考えながら、以下のことを話し合いたい。「老人天国」のあなたのイメージ?。最終ゴール (復興した姿) は老人天国を築いた先にあると思います。あなたがイメージする復興した被災地の姿とはどんな姿ですか? メリット・デメリットは? あなたは、どんな付加価値 (支援など) があれば、飯舘村に入ってもいいと思いますか? 情報発信の方法について。村民と新たな村民との交流。周りの市町村との連携。高齢者にやさしい村づくり。その他

#### 三瓶政美 特別養護老人ホーム『いいたてホーム』施設長

いいたてホームは、現在55名の入居者を65名の職員が支えている。現在、仮設住宅に避難している村民の中で、今元気な人も今後高齢になり、介護が必要な人も出てくる。皆が幸せな生活が

出来るように、今後を考えている。

(司会進行) 中町英佐子 元東京家政大学社会福祉学部学部長

**D 菅野義樹** 比曽地区牧畜業、北海道で牧場経営

村民の心の再生ネットワークの創造

飯舘の再生は、いくらお金があってもどんな施設ができて、村民の心が再生しなければ叶いません。一人一人が自分の力を信じ、自分が主人公の人生を歩むための話す場が必要だと感じています。

**酒井政秋** 小宮地区で元婦人服製造工場長

被災後1年は大変つらく弱っていたが、若い世代で対話の場づくりを試みてきた。皆が本音で話し合っただけで心が救われてきた。

(司会進行) 西脇淳子 茨城大学農学部 地域環境科学科 助教

**E 菅野義人** 比曽地区牧畜業、元村会議員

飯舘村と村民の復興の考える。厳しい自然の中で、磁力で努力を重ねてきた先祖のことを考えている。復興の主人公は村民であることの確認を行う。与えられる復興でなく創り出す復興へ。避難指示解除の時期の検討は、より多くの村民を巻き込んだ議論が必要。「全村避難」になった村だからできる構想の模索・外部専門家との連携・老人村特区、除染(線量の低下)は村民(若者)の帰村率を高める必須条件。風評被害を受けない農業(エネ作物・太陽光と牧野)等の可能性を追求

(司会進行) 溝口 勝 ふくしま再生の会理事、東京大学大学院農学生命科学研究科教授

**F 佐藤公一** 山津見神社総代 佐須地区長 農業

全村避難の困難の中で、安心して帰村し、地区民のきずなの中でまじりライフを再生したい。

**菅野永徳** 山津見神社総代 佐須地区農業

2011年の原発事故被災と2013年の焼失という二重の困難にある山津見神社を総代として復興し、地域住民の精神的支柱を再建するとともに、地域の生活・産業の再生を推進する。都市と農村の文化的交流・世代を超えた交流をめざす。

(司会進行) 若林一平 文教大学国際学部教授

**G 菅野千恵子** 佐須地区農業

事実を踏まえながら風評に惑わされず、次代を背負う子や孫たちに、村の生活・文化を伝えていく。3世代・4世代同居の生活のなかで守られてきた年寄りの尊厳を取り戻し、都会では失われた飯舘村の良さを生かして生活の再生をしたい。

**伊藤美智子** 前田地区農業・(工業)

子供を育て、自営の工場を建て、家のローンが終わった時に震災にあった。夫婦とも避難は考えなかった。亡き亭主の意思でもあり、再生の役に立ちたい。パン焼き器2台を購入し、再生に備

えている。

(司会進行) 森本晶子 元大阪府立高等学校教諭

H 菅野宗夫 佐須地区農業、飯舘村農業委員会会長、いいたて協働社代表、  
ふくしま再生の会理事・福島代表

強いられた放射能汚染と無理解な政策により、生活・産業の破壊と精神的な分断状況に追い詰められている飯舘村を、村民・村外ボランティア・意欲的専門家と協働して、再生への諸活動をすすめている。意欲のある村民がいる。人間の再生を第一として、人間の知恵で村を再生する。それらの内容と展望を、多くの方々と共有したい。

(司会進行) 小川唯史 ふくしま再生の会理事・事務局長